

精華町立 精華南中学校



所在地 京都府相楽郡精華町桜が丘二丁目3番地1
電話 0774-72-5222 郵便番号 619-0232
F A X 0774-72-5366
<http://www.kyoto-be.ne.jp/seikaminami-jhs/>

精華南中学校 校歌

作詞 永谷 鞆庸
作曲 荒堀 和子

さくらが おかに そびえ たつ
わがまなびやは せいなんの
せんこのれきし ふまえつつ すすむせいき そうぞうの
いーきと どりよくの ひとつど う
は え あ る せ い か み な み ち ゅ う が く

精華南中学校校歌

作詞 永谷 鞆庸
作曲 荒堀 和子

一 桜が丘にそびえ立つ

我が学び舎は精南の

千古の歴史ふまえつつ

進む世紀創造の

意気と努力の人集う

栄えある精華南中学校

二 平城京の青垣に

育つ大地を基として

躍び立つ力担いつつ

世界の文化発展の

生気と創志の人集う

輝く精華南中学校

三 相楽山の頂きに

希望を胸に研きあい

未来に夢を抱きつつ

つくる関西・学研の

勇気と責務の人集う

伸びゆく精華南中学校

1. 学校の沿革

- 昭 63. 4. 1 精華町立精華南中学校が山田荘小学校で発足
4. 6 精華町立精華南中学校開校式（山田荘小学校体育館）
5. 21 精華町立精華南中学校育友会設立
9. 1 新校舎竣工に伴う開校式及び町開き、創立記念日とする。
10. 16 京都国体開始式に合唱隊として全校参加
3. 10 精華南中学校校歌発表会
3. 24 学校菜園創設
- 平 元. 4. 1 文部省・精華町より、道徳教育推進校に指定される。
4. 6 新しい制服（男女ともブレザー）を制定する。
3. 10 育友会総会で桜が丘地域が新しく加入される。
3. 24 平成2・3年度道徳教育推進校中間報告
2. 10. 25 文化クラブ発足（ブラスバンド部・クラフト部・文芸部）
2. 5 文部省・精華町教育委員会指定道徳教育推進中心発表会開催
4. 8. 30 「コンピュータ室」完成（42台設置）
6. 4. 1 京都府教育委員会・精華町教育委員会指定「国際理解教育推進事業モデル校」として指定をうける。（平成6・7・8年度）
9. 10. 25 創立10周年記念行事を開催
記念式典・記念演奏会・記念植樹「三春の滝桜」・記念誌発行
10. 11. 30 相楽郡中学校教育研究会指定研究発表（平成9・10年度）
12. 2. 20 アフリカ英語圏諸国の女性教員来校（18カ国24名）
10. 29 平成12年度京都留学生交流モデル地域推進事業の指定を受け、留学生との交流会を実施
13. 8. 25 吹奏楽部 関西吹奏楽コンクール出場
14. 8. 26 吹奏楽部 2年連続関西吹奏楽コンクール出場
15. 4. 1 特別支援学級「レインボー学級」開設
8. 25 吹奏楽部 3年連続関西吹奏楽コンクール出場
16. 4. 1 文部科学省「平成16年度全国的かつ総合的な学力調査の実施に係る教育課程研究指定校」に指定される。
8. 23 吹奏楽部 4年連続関西吹奏楽コンクール出場
17. 4. 1 「開かれた学校づくり」推進
8. 22 吹奏楽部 5年連続関西吹奏楽コンクール出場
2. 24 全国教育美術展 学校賞受賞
18. 8. 21 吹奏楽部 6年連続関西吹奏楽コンクール出場
19. 4. 1 「京の子ども、夢、未来校、ジョイントアップ研究開発校として府より指定を受ける」
11. 3 創立20周年記念行事を開催
20. 11. 19 京都府中学校教育研究会情報教育研究大会
2. 3 京の子ども、夢、未来校、ジョイントアップ研究発表会
21. 4. 1 平成21年度特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校）に指定される。
国立教育政策研究所教育課程研究センター関係指定事業「小・中連携教育実践研究事業（平成20・21年度）」
23. 4. 1 学力の3要素（習得・活用・意欲）について研究
25. 4～29. 3 ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりについて研究
27. 2. 屋内運動場太陽光発電設備設置
29. 4. 1 相楽地方中学校教育研究会指定研究（平成29・30年度）
29. 10. 27 創立30周年記念行事を開催

2. 学校教育方針

1. 経営方針

確かな学力、豊かな人間性、健康や体力などの「生きる力」をそなえた生徒の育成

2. 教育目標

(1) <中期経営目標>

『質の高い教育を追求するとともに、地域から信頼される学校づくり』～学校文化を創る～

- ① 習得・探求の喜び、共に生きる喜び、共感・感動の喜びなど「生きる喜び」を実現する取組を通して、「生きる力」を育てる。
- ② ユニバーサルデザインの視点に立ち、教育活動全般に取り組むことを基盤にして、精華南中独自の学校文化を創造する。
- ③ 家庭及び地域社会から信頼され、生徒にとって自信と誇りが持てる学校づくりを推進する。

(2) <学校経営の重点（短期経営目標）>

- ① 習得・探求の喜び、共に生きる喜び、共感・感動の喜びなど「生きる喜び」を実感させる取組を具体化する。
- ② 義務教育9年間を見据え、学力を向上させるための研究を推進し、質の高い学力を育成する。
- ③ 学校がさらに信頼され、生徒のボランティア活動などの実施、地域人材などの活用、学校行事への参加促進、情報の積極的な提供や学校評価など、地域の力を活用する。

3. めざす学校像、生徒像、教師像

(1) めざす学校像

- ① 生徒とのふれあいを大切にし、生徒・保護者・地域の信頼に応える教師
- ② 質の高い教育を提供し、信頼される学校
- ③ 生徒や地域の特性を生かし、生徒の夢を具現化する学校

(2) めざす生徒像

- ① 意欲をもって学び、根気よく努力をする生徒
- ② 自信と誇り、思いやりを忘れず行動する生徒
- ③ 創造性豊かで、感謝と感動を行動で表す生徒

(3) めざす教師像

- ① 生徒とのふれあいを大切にし、生徒・保護者・地域の信頼に応える教師
- ② 学ぶ喜びを実感できる授業を創造し、絶えず研鑽に励む教師
- ③ 組織として、子どもを教育する教師

4. 指導の重点

(1) 学校がさらに信頼され、生徒が愛される環境づくりを進める。

① 組織運営・校務分掌

ア 教職員が常に組織の一員であることを自覚し、機能させることにより学校力を高める。

イ 委員会、部会の統合や見直しを図る。

② 情報・文書管理

ア 精華町文書管理規程による管理を徹底する。

イ 文書の保管については、特に個人情報保護の観点に留意する。

③ 施設・設備管理・安全管理

ア 校舎内外の施設、整備の点検を定期的に行う。

イ 安全指導、安全管理の徹底を図る。

④ 保健・衛生

健康な体と学習環境を整えるために、定期的な検診と衛生管理に努める。

⑤ 家庭・地域との連携

地域の自然や文化・人材の積極的活用、学校評価等や情報の積極的な提供、保護者・地域の人々の学校運営への参加促進など地域の力を活用する。

⑥ 学校評価・教職員評価

ア 自己評価の結果について評価を行うため、学校関係者評価を導入する。

イ 教職員評価を充実させる。

- (2) 義務教育9年間を見据え、学力を向上させるための研究を推進し、質の高い学力を育成する。
- ① 研究・研修
質の高い学力を育成するために、研修を計画的に実施し、教職員の資質向上を図る。
 - ② 教育課程の編成と実施
学習指導要領全面実施を踏まえた教育課程を編成する。
 - ③ 各教科
ア 研究主題に基づいた研究を進めるとともに、授業改善に努める。
イ 基礎・基本の徹底による学力向上・充実を図る。
 - ④ 情報教育
生徒の情報活用能力の育成と「学校の情報化」を図る。
 - ⑤ 小中連携
小中学校の特質を考えながら、小中連携の充実を図る。(小中連携推進委員会が中心)
- (3) 習得・探求の喜び、共に生きる喜び、共感・感動の喜びなど生きる喜びを実感させる取組を具体化する。
- ① 生徒指導
基本的な生活習慣を体得させるとともに、自主的活動を充実させる。
 - ② 特別活動
望ましい集団活動を通して、集団や社会の一員としてより良い生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
 - ③ 教育相談
共感的理解等により人格の形成・成長を支援する。
 - ④ 特別支援教育
指導計画の作成と個々の生徒への働きかけを計画的に行う。
 - ⑤ 健康教育
心身の発達と健康な生活についての意識を高め、健康や安全に対する自己管理能力を育てる。
 - ⑥ 道徳
ア 道徳的価値の内面的な自覚を促す道徳の授業方法について研修を深める。
イ 家庭や地域社会との連携・交流を重視する。
 - ⑦ 総合的な学習の時間
「生きる力」をはぐくむという目標の具現化のため、学校全体の計画を再構築する。(「生き方」探求学習に再編)
 - ⑧ 進路指導
「生き方」探求学習を通して、自らの進路を主体的に切り拓く能力や態度を育成する。
 - ⑨ 人権教育
様々な人権問題の正しい理解と問題解決のために行動できる態度や実践力を培い、「共に生きる」実践をさせる。
 - ⑩ 国際理解教育
教科・道徳・「生き方」探求学習などを通して、国際社会に生きる日本人としての自覚を身につける。
 - ⑪ 環境教育
身近な環境や環境問題に関心をもち、環境にやさしい人間に育てる。
 - ⑫ 図書館教育
生徒の豊かな感性と生涯にわたって読書を愛好する心情を育む。

5. 研究主題

「学校文化を創る」

～ ユニバーサルデザインに視点を置いた学校づくり ～

3. 生徒数（5月1日現在）

(1) 学年別・学級別生徒数

学 年 組	特別支援学級 レインボー	1 年		2 年		3 年		合 計
		1	2	1	2	1	2	
男 子	2	12	14	10	11	14	14	77
女 子	2	14	14	12	11	16	16	85
小 計	4	26	28	22	22	30	30	162
合 計	4	54		44		60		162
家 庭 数	3	42		41		60		146

(2) 地域別生徒数

地 域	特別支援学級	1 年	2 年	3 年	合 計
山 田	0	5	1	3	9
乾 谷	0	2	0	5	7
栢 榴	0	1	0	1	2
桜が丘一丁目	0	9	11	16	36
桜が丘二丁目	0	9	9	11	29
桜が丘三丁目	1	9	8	8	26
桜が丘四丁目	3	14	13	12	42
エスペローマ	0	5	2	4	11
合 計	4	54	44	60	162

4. 教育一覧表（5月1日現在）

職名	氏名	担任	教科	校務分掌	部活顧問
校長	池森 武史				
教頭	公文代 哲夫				
主幹教諭	有城 義浩	教務	保健体育	教務主任	陸上競技
教諭	吉岡 美智子	レインボー	英語	特別支援教育	国際交流
教諭	望月 英雄	1年主任	数学	少人数教育、特別活動	ソフトテニス
教諭	今村 優典	1年1組	国語	防災・安全教育、図書館教育	野球
教諭	堤 梨恵	1年2組	美術	学級活動	美術
講師	北澤 裕子	1年付	数学	清掃美化	バスケットボール
教諭	杉本 美幸	2年主任	国語	研究推進	バドミントン
教諭	中西 将也	2年1組	理科	情報教育、環境教育	野球
教諭	脇阪 陽子	2年2組	英語	少人数教育	陸上競技
教諭	乾 佐知子	2年付	音楽	特別支援教育コーディネーター、小中連携	吹奏楽
教諭	大谷 弘和	3年主任	社会	生徒指導、人権教育	サッカー
教諭	脇本 亜矢	3年1組	保健体育	教育相談	バスケットボール
教諭	森山 みのり	3年2組	英語	生徒会、国際理解教育	吹奏楽
教諭	小野 昌	3年付	数学	進学主任、情報教育	サッカー
非常勤講師	大嶋 良孝		技術		
非常勤講師	曾束 ますみ		家庭		
非常勤講師	森下 綾		理科		
非常勤講師	高田 直哉		社会		
非常勤講師	加田 香			特別支援教育指導	
養護教諭	北村 忍			健康教育	
事務職員	楠本 真理子			学校事務	
町特別支援員	田邊 直子			特別支援教育	
A L T	ヤマダ コール			外国語指導助手	
学校図書館司書	赤松 智子			学校図書館運営	
スクールカウンセラー	宮井 美和				
学校医	下里 豪俊				
学校歯科医	住岡 和一				
学校薬剤師	中村 政美				

5. 学校行事計画

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
儀 式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文 化	新入生歓迎会	文化学習発表会 人権学習発表会	書初め キャリア教育推進フォー ラム（2年） 3年生を送る会
健康安全 体 育	発育測定 視力検査 スポーツテスト 避難訓練 交通安全教室 防犯教室 薬物乱用防止教室 熱中症予防学習	発育測定 視力検査 体育大会 避難訓練 校内マラソン大会	発育測定 視力検査
旅 行 集 団 宿 泊	海洋学習（1年） 校外学習（2年） 修学旅行（3年）		校外学習（2年）
勤 労 生 産 奉 仕	学校菜園作業	地域清掃活動 しごと講話 職場体験学習（2年）	学研都市企業訪問（1年） 奉仕作業（3年）

6. PTA

(1) 活動方針

世の中の変化とともに、子どもたちを取りまく環境も大きく変わっています。新聞やTVのニュースでは、子どもに係わる凶悪で悲惨な事件が連日といっていいほど報道されています。子どもたちが、いつ、どこで、どんな事件・事故・災難に遭遇するかわからない状況にあります。このような時代だからこそ、学校と親がしっかり手を組んで、協力していくことが大切です。

一步一步、大きな社会に踏み出しつつある子どもたちが、将来、自分の足をしっかりと地につけ、歩める土台を作れるように、「家庭」「学校」「地域社会」が互いに協力し合う。そして地域ぐるみ、学校ぐるみで子どもたちを守り育てるためにも、先生方と保護者と子どものふれあいを深め、心身共に健康な子どもたちの成長を目指し、より良い環境を作り上げていきたいと思えます。

(2) 活動目標

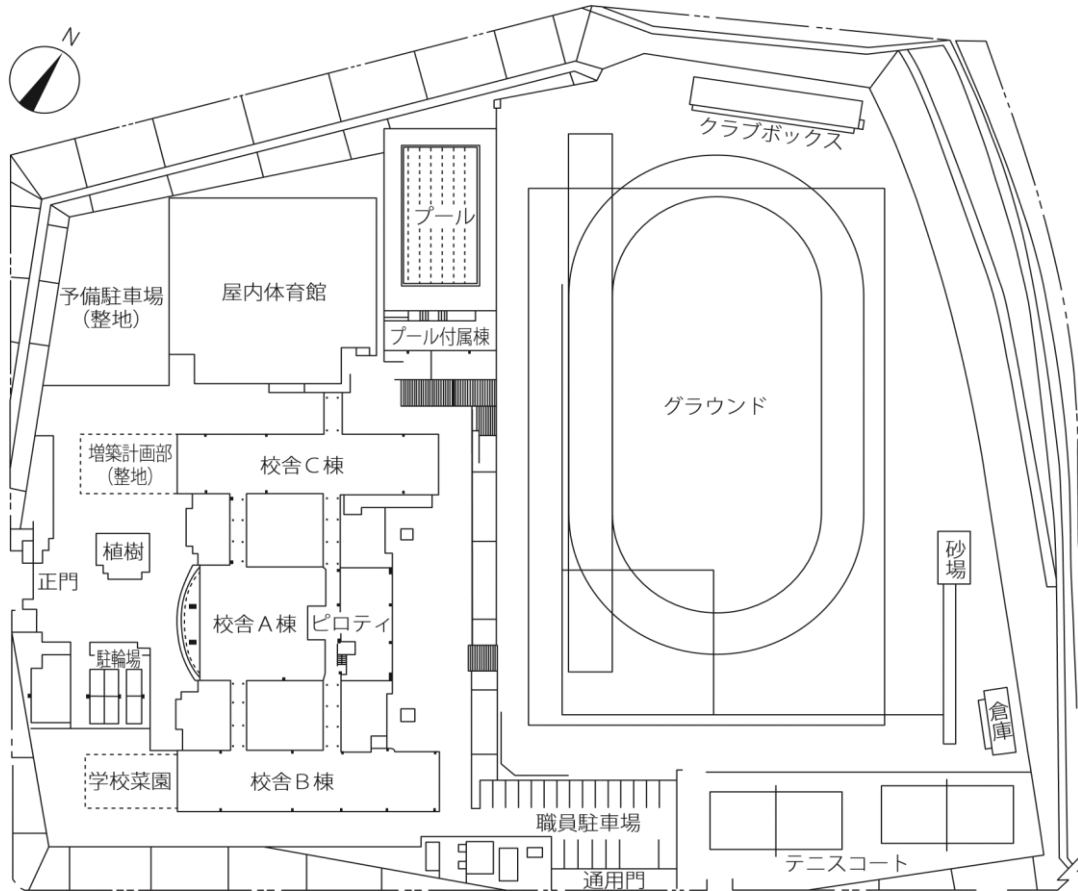
「地域ぐるみ、学校ぐるみで子どもを守り育てるために、先生方と保護者と子どものふれあいを深める」

- ① 保護者と教職員が共通の認識を持ち、相互に理解を深められるようにPTA活動を推進する。
- ② 各種行事の参加を通じて会員相互の親睦と理解を深め、円滑なPTA活動を推進する。
- ③ 関係団体の研修に積極的に参加する。

7. 学校評議員

氏 名	地 域 名
木 原 國 夫	柘 榴
森 本 一 郎	山 田

8. 学校施設



各階平面図

